



しんの強い子を育てる

静和小学校だより

～誰一人、取り残さない～

4月号

2025.4.10 発行

校長：柿沼 透

は

這へ笑へ

二つになるぞ

けさからは

小林一茶



心躍る成長の春。子どもたちも希望に満ちて、新学年となりました。

新入生も迎え、静和小学校は、ますます子どもたちの笑顔と活気にあふれています。

保護者の皆様におかれましては、お子さんの進級、ご入学、誠におめでとうございます。

地域の皆様には、子どもたちの健やかな育成に日々、大変お世話になっております。

今年度も、静和小230名の子どもたちが、安全・安心に学校生活を送れるよう、
変わらぬご支援とご協力を、よろしくお願いします。

学校教育目標「しんの強い子ども」

栃木市の誇り、山本有三先生。小説『路傍の石』には次のような言葉があります。

「学校ってものは、先生の魂と生徒の魂とがぶつかり合う道場だ」

いかに時代が進んでも、人間を育てるのは人間にしかできません。

人を愛し、人を心から育てようと思う感情は、人にしか抱けないからです。

私たちは、心から子どもたちをほめます。

心から子どもたちを諭します。

心から子どもたちを励まします。

私たちは、魂を込めて「しんの強い子ども」を育成します。

校 長

静和小学校へ、ようこそ！

4月8日に令和7年度の入学式を行いました。37名の新一年生、入学おめでとう。式では、ランドセルに入れてくる大切なものの話をしました。教科書、ノート、筆箱。それ以外に、抱えきれない「夢」をランドセルいっぱいに入れて登校してほしいと。それぞれの夢に向かう一年生の、頑張りや成長を心から応援しています。

令和7年度の本校職員紹介については、配付したプリント（裏面）をご覧ください。